

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

大分県知事  
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県別府市船小路町3番43号

氏 名 明大工業株式会社

代表取締役社長 藤澤 正浩

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0977-24-1212

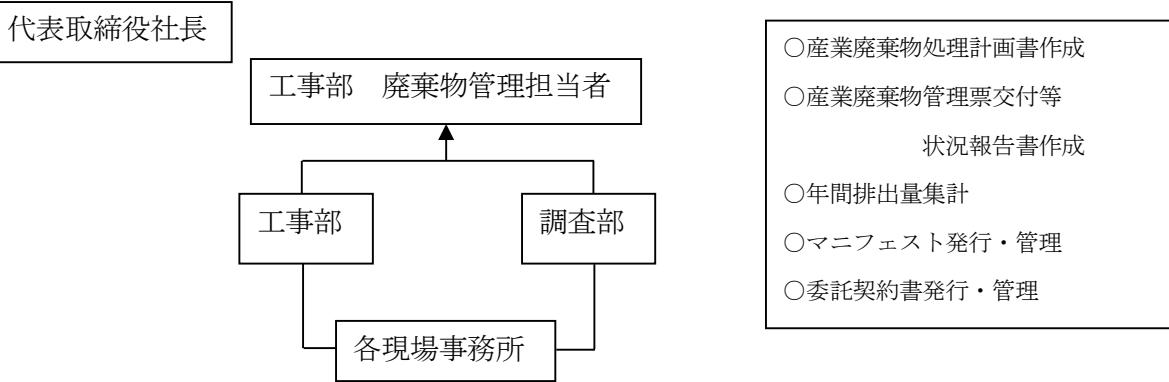
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	明大工業株式会社
事業場の所在地	大分県別府市船小路町3番43号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	D 建設業 06 総合工事業
② 事業の規模	¥1,415,226,950- (元請完成工事高)
③ 従業員数	50名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	現場事務所→汚泥 →委託処理 (脱水・機械乾燥・固化) 廃プラスチック類→委託処理 (破碎・選別・焼却・埋立・セメント材/R P F) 紙くず →委託処理 (破碎・選別・圧縮・固化・焼却・R P F) 木くず →委託処理 (破碎・選別・焼却・セメント材/チップ化) 金属くず →委託処理 (破碎・選別) がれき類 →委託処理 (破碎・選別・埋立) コンクリート破片→委託処理 (破碎・路盤材/R C 40) アスコン破片 →委託処理 (破碎・路盤材/R C 40)

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり
	排 出 量	t t
(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙①のとおり
	排 出 量	t t
(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・可能な限り分別を実施している。分別が困難な場合は、分別処理を行う委託業者を選定し、現地確認を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・可能な限り分別を実施する。分別が困難な場合は、分別処理を行う業者を選定し、現地確認を行う。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量		t	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】		
①現状	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量		t	t
②計画	(これまでに実施した取組)			
	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		t	t
③計画	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	別紙②-1のとおり		
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組)			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
※事務処理欄			

## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第2面  
別紙①

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排出量	19.25t	4.41t	100.274t	2.915t
産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	
排出量	5.18t	500.05t	594.65t	

②計画

目標

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
排出量	19t	4t	100t	2.5t
産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	
排出量	5t	500t	590t	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

前年度(令和4年度)実績

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	19.25t	4.41t	100.274t	2.915t
優良認定処理業者への処理委託量			78.644t	
再生利用業者への処理委託量	19.25t	4.41t	21.63t	2.915t
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	
全処理委託量	5.18t	500.05t	594.65t	
優良認定処理業者への処理委託量				
再生利用業者への処理委託量	5.18t	500.05t	594.65t	
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①計画

目標(令和5年度)

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	金属くず
全処理委託量	19t	4t	100t	2.5t
優良認定処理業者への処理委託量			80t	
再生利用業者への処理委託量	19t	4t	20t	2.5t
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				
産業廃棄物の種類	がれき類	コンクリート破片	アスファルト・コンクリート破片	
全処理委託量	5t	500t	590t	
優良認定処理業者への処理委託量				
再生利用業者への処理委託量	5t	500t	590t	
認定熱回収業者への処理委託量				
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量				